

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に本学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。募集条件等変更している可能性もありますので、詳細は必ず募集要項で確認してください。

※ 学生支援課ホームページでは、奨学財団から募集依頼がある度にお知らせしています。随時確認してください。

あった時期	申請方法	奨学 会 名	給付／貸与	金額（円）	受給期間	出 願 資 格 等						全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数			
						学部	修士(前期)	博士(後期)	年齢	専門分野	併用条件						学力優秀	経済困難	面接
1月	大学推薦	《公財》旭硝子財団	給付	修士：100,000円／月額 博士：120,000円／月額	正規の修学期間		○ 1年生	○ 1年生			当財団の奨学金支給期間中は、他機関より月額12万円以上の給付奨学金等を受けていない者	○	○		修士15名程度 博士15名程度	人文・社会科学系2名(修士1名、博士1名) 自然科学系2名(修士1名、博士1名)	修士18名 (人文・社会科学系3名、自然15) 博士4名 (人文・社会科学系0、自然4)	修士1名 (理工1) 博士1名 (理工1)	
1月	大学推薦	《公益信託》萬谷記念かながわ奨学金基金	給付	修士：800,000円／年額 博士：1,200,000円／年額	修士2年以内 博士3年以内		○ 1年生	○ 1年生		理学・工学	併用不可、併願可	○	○		5名程度	3名以内	6名	2名	2名
1月	大学推薦	《公財》吉田育英会 ドクター21 【予約採用】	給付	・20万円／月額 ・学校納付金として合計250万円以内の実費 ・海外研究活動支援として合計100万円以内の実費	博士後期課程に入学した月 から3年以内			○ 入学希望者	30歳未満(2022年4月1日現在)	自然科学系	民間団体奨学金との併給不可※国・地方公共団体について制限あり	○		○	5名程度	2名	1名	1名	0名
1月	大学推薦	《公財》吉田育英会 マスター21 【予約採用】	給付	・①8万円／月額 または ②学校納付金として合計250万円以内の実費 ・海外研究活動支援金として合計50万円以内の実費	修士(博士前期)課程に入学した月 から2年以内			○ 入学希望者	27歳未満(2022年4月1日現在)	自然科学系	民間団体奨学金との併給不可※国・地方公共団体について制限あり	○		○	15名	1名	4名	1名	0名
2月	大学推薦	《公財》浦上奨学会	給付	40,000円／月額	最短修業年限まで			○ 入学者			給付奨学金とは併用不可(ただし、当金以外の海外留学奨学金は併用可) 貸与奨学金とは併用可	○	○	○	10名程度 (各大学1名まで)	1名	1名	1名	1名
2月	大学推薦	《公財》阪和育英会	給付	30,000円／月額	正規の修学期間		○				併用可	○	○		20名程度	1名	6名	1名	1名
2月	大学推薦	《公益信託》松尾金蔵記念奨学金基金	給付	1,000,000円／年額	3年以内(最短修業年限)、修士(博士前期)課程1～2年、博士後期課程1～3年 ※毎年度継続審査あり		○ 1年生	○ 1年生	30歳以下(令和4年4月1日現在)	文学、哲学、言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等(経・法除く人文社会)	併願は可、併給は不可	○	○		10名	修士1名 博士1名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	《公財》アイザワ記念育英財団	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限		○ 2～4年生				他の奨学金及び日本学生支援機構給付奨学金との併用不可(日本学生支援機構貸与奨学金、学内授業料減免との併用可)	○	○	○	記載無	2名	7名	1名	0名
3月	大学推薦	《公財》いであ環境・文化財団	給付	200,000円／年額(一括支給)	1年間		○ 2年生以上	○	○	環境分野	併給可	○			30名程度	各学部(大学院)3名まで		2名	1名
3月	大学推薦	《公財》小原白南育英基金	給付	50,000円／月額	正規の最短修業年限		○ 新1年生				他の奨学金との併給不可(日本学生支援機構貸与奨学金は可) ※国の授業料免除との併用はできるが日本学生支援機構給付型奨学金との併用は不可	○	○	○	30名程度	2名	2名	1名	1名
3月	大学推薦	《公財》程山奨学財団	給付	40,000円／月額	原則4年間 正規の最短修業年限まで (毎年継続審査あり)			○ 新1年生			給付奨学金の併用不可(日本学生支援機構奨学金、学内奨学金を除く)	○	○			1名	4名	1名	1名
3月	大学推薦	《一社》唐神基金	給付	240,000円／年間(半年毎に120,000円) 当ホテルの無料宿泊優待券：年間2枚 (半年毎に1枚)※使用条件あり	2023年4月～2024年3月 までの1年間			○			併用可	○	○	○	13名 (予定)	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	《一財》北野財団	給付	30,000円／月額	令和4年4月～正規の最短修業期間			○ 2～4年生	学部満23歳以下 院満28歳以下 (2022年4月1日現在)	理工系(主に土木・建築・都市計画及び機械関連)	併用可	○	○		15名程度	1名	学部2名 院8名	1名	0名
3月	大学推薦	《公財》佐藤定雄国際奨学財団	給付	30,000円／月額	2022年4月から2年間			○ 2、3年生		理工系又はスポーツに関心者 ※詳細は備考参照	併給可	○	○		15名程度	3名程度	2名	2名	2名
3月	大学推薦	《公財》CTC未来財団	給付	60,000円／月額	正規の最短修学期間		○ 2022年4月学部入学者 (3年次編入学者含)		2022年4月現在で20歳以下、編入学者は22歳以下		併用可	○	○		15名程度	学内選考無	4名	4名	0名
3月	大学推薦	JEES・出光興産(潤滑技術)	給付	80,000円／月額	令和4年4月より在籍する課程の修了まで(最短修業期間)		○	○ 1年生		トライボロジーに関わる機械、電気、電子、化学、材料、ものづくりなどの工学分野	・他の奨学金との併給不可(貸与奨学金、国の高等教育修学支援新制度による学費減免を除く)				2名程度	1名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	《公財》JPC奨学財団	給付	30,000円／月額	2021年4月～修業年限まで ※最長で学部は2026年3月までの4年間、大学院は2024年3月までの2年間			○ 1年生	○ 1年生	30歳以下(2022年4月1日現在)	理工系	併給可 ※備考参照	○		7名程度	2名程度	学部1名 院21名	学部0名 院2名	院1名
3月	大学推薦	《一財》清水育英会	給付	50,000円／月額	2022年4月～正規の最短修業年限			○ 2～4年生	○	学部満23歳以下 院生満33歳以下 (2022年4月1日現在)	建築、土木又は都市計画等	併用可	○	○	35名程度	3名以内	(留学生含む) 学部5名 院15名	学部2名 院1名	
3月	大学推薦 (直接応募)	《一財》鹿野学術振興財団	給付	50,000円／月額	1年間(2022年8月1日～2023年7月31日)		○ 1～3年生	○ 1年生		科学技術関係※	併給不可(日本学生支援機構(貸与・給付)奨学金・学内奨学金は除く)	○			若干名	学内選考無	0名	0名	0名
3月	大学推薦	《公財》TAKEUCHI育英奨学会	給付	60,000円／月額	2022年4月から2年間 ※募集資格に該当すれば2年後に継続応募可			○ 2～3年生	○ 1年生	理工系(機械工学、電気工学、制御工学等)	併給可	○	○		70名程度	—	学部1名 院2名	学部1名 院2名	院1名
3月	大学推薦	《新奨財団》 《一財》阪府環境財団	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで			○ 3～4年生			併用可	○	○	○	15名/学年	2名	7名	2名	2名
3月	大学推薦	《公財》同朋育成会 古野給付奨学金(学部生)	給付	40,000円／月額	2022年4月～最短卒業時まで(最長2年間)			○ 3年生		ジャーナリスト、ジャーナリズム研究者を志す者	併用可	○	○		20名	3名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	《公財》同朋育成会 古野給付奨学金(院生)	給付	60,000円／月額	2022年4月～修了時まで(最長2年間)			○ 1年生		ジャーナリスト、ジャーナリズム研究者を志す者	併用可	○	○	○	20名	3名	1名	1名	1名
3月	大学推薦	《公財》中部奨学会	給付／貸与	学部生：給付・貸与35,000円／月額 修士(博士前期)：給付・貸与60,000円／月額 博士後期：給付60,000円／月額			○	○ 1年生	○		併給可	○	○	○	学部(給付4名、貸与8名) 修士(給付2名、貸与4名) 博士(給付6名)	複数名 (募集人数を超えない範囲)	学部1名 院2名	博士2名	0名
3月	大学推薦	《公益信託》日新製鐵教育基金	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限			○ 3～4年生		理工学部	併用可	○	○		14名程度	1名	1名	1名	1名
3月	大学推薦	《公財》日本証券奨学財団	給付	自宅：45,000円／月額 自宅外：55,000円／月額	最短修業年限まで			○ 2年生	○ 1年生	学部22歳以下 修士25歳以下 博士28歳以下 (2022年4月1日現在)	他の奨学金(日本学生支援機構貸与型奨学金は除く)との併願・併給不可※	○	○	○	60名程度	3名	学部2名 院10名	学部1名 院2名	学部1名 院2名
3月	大学推薦	《一財》野崎わかば会	給付	30,000円／月額	2022年4月から卒業(最短修業期間)まで			○ 2～3年生		理工学部 数物・電子情報系学科	併給可	○	○		記載無	1名	1名	1名	1名
3月	大学推薦	《公財》フジシール財団	給付	学部：50,000円／月額 修士：60,000円／月額	正規の最短修業年限			○ 3年生	○ 1年生		他の給付奨学金との併給不可(学内奨学金、日本学生支援機構給付奨学金および海外留学支援の奨学金は除く)	○			39名	1名	6名	1名	1名
3月	大学推薦	フジタ奨学金制度	給付	500,000円／年額 (半期毎に支給)	2022年4月～2023年3月 までの2年間			○ 3年生	○ 1年生	学部25歳以下 (3年進級時) 院27歳以下 (進学時)	給付型奨学金との併用不可(日本学生支援給付型奨学金は除く)	○	○	○	21名	1名	0名	0名	0名
3月	大学推薦	《公財》古河記念基金	給付	自宅：30,000円／月額 自宅外：35,000円／月額	最短修業年限まで (最長6年)			○ 2年生以上	○	理工系(特に金属その他の資源関係を優先)	併用可	○			記載無		学部4名 院2名	1名	1名
3月	大学推薦	《公財》三菱UFJ信託奨学財団	給付	35,000円／月額	正規の最短修業年限の 終期まで			○ 2年生		経済学部、経営学部、理工学部	併給可 (財団に届出必要)	○	○		記載無	2名	5名	2名	2名

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に本学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。募集条件等変更している可能性もありますので、詳細は必ず募集要項で確認してください。

※ 学生支援課ホームページでは、奨学財団から募集依頼がある度にお知らせしています。随時確認してください。

案内の あった 時期	申請方法	奨 学 金 等 名	給付／ 貸与	金 額（円）	支給期間	選 擇 制 度			年 齢	専 門 分 野	併 用 条 件	学 力 優 秀	出 願 資 格 等		全体での 採用者数	大学 推薦枠	学内 申請者数	大学 推薦者数	大学 採用者数	
						学 部	修 士 (前期)	修 士 (後期)					経 済 困 難	面 接						
3月	大学推薦	《特別募集》 （公財）村井順記念奨学財団	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 新1年生				理工学部	学内奨学金、日本学生支援機構奨学金のみ併用可	○	○		12～13名程度	若干名	1名	1名	1名	
3月	大学推薦	（公財）米道・リンガー・ハット財団 《鳥取県・長崎県》	給付	20,000円／月額	正規の最短修業年限	○ 2～4年生	○		学部満23歳以下 院満33歳以下 (2022年3月31日時点)		併給可	○	○	○	10～15名程度 （鳥取県、長崎県各7名程度）	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	（学内奨学金） YNU大澤奨学金	給付	50,000円／月額	3年間 （引き続き修士課程2年間支給可能、1年毎継続審査あり）	○ 2年生					給付型奨学金との併給不可（ただし、高等教育の修学支援新制度による日本学生支援機構給付奨学金との併給可、授業料免除・徴収猶予制度との併用可）	○	○	○	4～5名		8名		5名	
3月	大学推薦	（学内奨学金） YNU竹井准子記念奨学金	給付	50,000円／月額	4年間 （1年毎継続審査あり）	○ 1年生					給付型奨学金との併給不可（ただし、新入生スタートアップ支援金、高等教育の修学支援新制度による日本学生支援機構給付奨学金との併給可）	○	○	○	3名		2名		2名	
3月	大学推薦	（学内奨学金） 新入生スタートアップ支援金	給付	150,000円／1回	1回限り	○ 1年生					他の奨学金と併給可 授業料免除・徴収猶予制度との併用可	○	○		20名程度		10名		8名	
3月	大学推薦	（学内奨学金） 八幡むじ・鈴木健吾奨学金	給付	50,000円／月額	学 部 生：2022年4月～卒業まで3年間、毎年継続審査あり 大学院生：2022年4月～卒業まで2年間、毎年継続審査あり	○ 2年生		○ 1年生			給付型奨学金との併給不可（ただし、高等教育の修学支援新制度による日本学生支援機構給付奨学金との併給可、授業料免除・徴収猶予制度との併用可）	○	○	○	3名		7名		院2名	
4月	大学推薦	（公財）伊勢丹奨学会	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限まで	○ 新1年生				経済学部、経営学部	併給可	○	○		8名	1名	1名	1名	1名	
4月	大学推薦	（一財）大森昌三記念財団	給付	30,000円／月額	2022年4月より正規の最短修業年限	○ 2～4年生	○	○	学部満23歳以下 院満33歳以下 (2022年4月2日)		併給可	○	○		20名程度	2名	学部4名 院6名	学部0名 院2名	学部0名 院0名	
4月	大学推薦	（公財）川村育英会 【学部】	給付	30,000円／月額	2022年8月より大学卒業まで	○ 2年生				化学系および機械、電気電子工学系	併給可	○	○		6名	1名	1名	1名	1名	
4月	大学推薦	（公財）川村育英会 【大学院】	給付	80,000円／月額	2022年8月より修士課程修了まで	○ 1年生				化学系および機械、電気電子工学系	併給可	○	○		13名	1名	3名	1名	1名	
4月	大学推薦	（公財）G－7奨学財団	給付	上限100,000円／月額 （年間上限1,200,000円）	令和4年4月～令和5年3月（継続の再申請可能、標準修業年限を上限として支給）	○ ○ ○					併用可（ただし支給額を調整することがある）	○	○		38名程度	1名	学部5名 院10名	学部1名 院1名	0名	
4月	大学推薦	JEES・MUFG緊急支援奨学金 （一財）	給付	100,000円／一回限り	令和4年8月頃支給	○ ○ ○					併給可				記載無	3名	0名	0名	0名	
4月	大学推薦	（公財）春秋育英会	給付	30,000円／月額	正規の最短修業年限	○			修了時26歳を超えないこと		併用可	○	○		記載無	2名	10名	2名	2名	
4月	大学推薦	（公財）高村育英会	給付	50,000円／月額	正規の最短修業年限まで	○ 2022年4月新学期入学者					給付奨学金との併用不可（日本学生支援機構給付型奨学金は除く）		○		24名	1～2名	0名	0名	0名	
4月	大学推薦	（公財）中村積善会	給付	50,000円／月額	正規の最短修業年限	○ ○ ○			40歳以下 （出願時）		併用可	○	○		記載無	3名	0名	0名	0名	
4月	大学推薦	（公財）日揮・美吉奨学会	給付	300,000円／年額（一括支給）	1年間	○ ○ ○			30歳未満(2022年4月1日時点)	理工系	併用可（日本学術振興会特別研究員採用者、当金の奨学金を過去に受給した者は不可）	○	○		5名程度	5名	学部16名 院36名	学部2名 院4名	学部2名 院4名	
4月	大学推薦	（公財）長谷川財団	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○ ○ ○					併用可	○	○		18名程度	1名	学部5名 院3名	学部1名	0名	
5月	大学推薦	《土木教室にて申請》 （一財）上田記念財団	給付	50,000円／月額 （4月・7月・10月・翌年1月に3か月分をまとめて支給）	2年間	○ 3年生		○ 1年生	学部23歳未満 院25歳未満（令和4年4月1日現在）	土木工学系	併用可	○	○		記載無	1名	院3名	院3名	院3名	
5月	大学推薦	JEES日本語教育普及奨学金	給付	50,000円／月額	令和4年10月～令和5年3月までの6ヶ月間	○ ○ ○				日本語指導者をを目指す者	・協会が実施する他の奨学金との併給不可 ・他団体奨学金等の受給額合計が年額80万円以下の者（貸与型奨学金、国の高等教育修学支援新制度による学費減免を除く）				20名程度	2名程度	1名	1名	1名	
6月	大学推薦	（一社）大学女性協会	給付	一般奨学生：200,000円／1回 社会福祉奨学生：学部100,000円／1回、院200,000円／1回	1回限り	○ 福祉奨学生(2年以上)		○ 2年生			日本語指導者をを目指す者	・協会が実施する他の奨学金との併給不可 ・他団体奨学金等の受給額合計が年額80万円以下の者（貸与型奨学金、国の高等教育修学支援新制度による学費減免を除く）				一般6名 福祉3名以内	一般1名 福祉1名	1名	1名	0名
7月	大学推薦	（一財）種とまと財団 【翌年度支給】	給付	80,000円／月額	最短修業年限まで	○ 4年度生		○ 進学者		理工系、情報系	民間の給付奨学金との併用不可（日本学生支援機構・市町村等の奨学金は併用可）	○	○		記載無	1名	6名	1名	1名	
7月	大学推薦	（公財）林しおロージー記念財団 【R5年度支給】	給付	学部：30,000円／月額 修士：50,000円／月額	最短修業年限まで	○ 34年度生		○ 12年度生		工学部・理学部系、農水産学部・生命科学部系等	併用可				学部10名程度 院20名程度	学部1名程度 修士1名程度	学部3名	1名	1名	
9月	大学推薦	《新規財団》 （公財）佐藤陽国際奨学財団 ＜あくなき探究>奨学金	給付	80,000円／月額	学部4年後期(2022年10月)から修士標準修業年限まで 他補助金制度あり	○ ○ ○					以下、全てを満たすこと ①日本国籍を有すること ②2023年4月から大学院修士課程（修士前期含む、以下同じ）に進学が決定または内定していること ※進学する大学院は他大学でも可。但し、関東7都県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県）の大学院に限る ③研究目標が明確であり、修士課程修了後も博士課程で研究を続ける計画があること ④奨学金受給時期に、他の奨学金又はこれに類する資金を受給していないこと（貸与奨学金及び学費免除は可、但し学部4年次以降は奨学金受給後、他奨学金を受給しないこと。5万円を超える場合、応相談） ⑤学業・研究に支障のない実力を有すること、あるいは目標をもって実力向上に努めること ⑥財団設立（佐藤陽 様）の理念を理解し、グローバルな視野をもち社会貢献に積極的であること ⑦奨学生として採用された後、異文化交流を目的とする当財団の交流会（年6回、主に東京で開催、交通費支給）に必ず出席できること ⑧奨学金支給期間終了後もSATOMI（当財団の卒業生の総称）として財団の交流活動やネットワーク構築等に積極的に協力できること ⑨認証式に必ず出席出来ること ⑩財団の奨学生規則をよく理解し申請すること	○	○	○	3名程度	2名	1名	1名	1名	
10月	大学推薦	JEES・ソフ・バンクAI人材育成奨学金 【翌年度支給】	給付	80,000円／月額 一時金40,000円（一時金は令和4年7月支給）	令和4年4月より 令和5年3月まで	○ 1年生			28歳未満（令和4年9月30日現在）	人工知能（AI）分野（情報工学、情報科学、統計学等）	併給可※備考参照				22名程度	1名	2名	1名	0名	
11月	大学推薦	（公財）博覧堂教育財団	給付	ア. 授業料相当額：50,000円／月額 ※授業料免除との併用の場合、減額の可能性あり イ. 自宅外生への特別支援額：50,000円／月額 ※自宅外生の認定は採用後「自宅外通学申告書」により財団が認定	最短修業年限まで	○				教育学部	給付奨学金との併用不可	○	○		100名程度	第1推薦枠1名 第2推薦枠1名	2名	2名	2名	
12月	大学推薦	（公財）エンプラス横田教育振興財団	給付	50,000円／月額	2022年4月～卒業まで ※ただし、条件が満たない場合は途中で停止の可能性あり	○ 2～4年生				理工学部	給付奨学金との併用不可 （日本学生支援機構給付奨学金除く）	○	○		13名程度	1名	1名	1名	1名	
1月	大学推薦	（公財）寺人奨学会 寺人久村奨学生（修士課程）	貸与	80,000円／月額（無利子）	2022年4月から正規の修士課程修了月まで	○				医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等	併給可	○	○		10名	2～3名	0名	0名	0名	
2月	大学推薦	（公財）松蔭奨学育成基金 《長崎県》	貸与	42,000円／月額（無利子）	大学の所定修学期間 在学生はその残存修学期間	○					併願、併用可	○	○		記載無	記載無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	（公財）味の素奨学会	貸与	学部：自宅30,000円、自宅外35,000円／月額（無利子） 院：自宅40,000円、自宅外45,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限まで	○ 3、4年生	○	○		理系	併用可	○	○		15名	2～3名	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	石川県教育委員会	貸与	44,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限まで	○				日本学生支援機構奨学金貸与奨学金との併用不可	○	○		80名	学内選考無	0名	0名	0名		
3月	大学推薦	川崎市教育委員会	貸与	38,000円／月額（無利子）	令和4年4月から正規の修業年限終了まで	○ 1年生						○			10名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	（公財）小堀雄久学生等支援会 《前期募集》	貸与	40,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ ○ ○				理工農系（医・歯学系を除く）	併給可	○	○		記載無	4名	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	福島県教育委員会	貸与	35,000円／月額（無利子）	令和4年4月から正規の最短修業年限	○					貸与奨学金との併用不可	○	○		120名程度（予約採用内定者30名を含む）	学内選考無	0名	0名	0名	

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に本学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。募集条件等変更している可能性もありますので、詳細は必ず募集要項で確認してください。

※ 学生支援課ホームページでは、奨学財団から募集依頼がある度にお知らせしています。随時確認してください。

案内の あった 時期	申請方法	奨 学 金 等 名	給付／ 貸与	金 額（円）	支給期間	出 願 資 格 等			学力 優秀	経済 困難	面接	全体での 採用者数	大学 推薦枠	学内 申請者数	大学 推薦者数	大学 採用者数
						学部	課程 修士 (前期)	修士 (後期)								
3月	大学推薦	（公財）みずほ育英会	貸与	学部:50,000円／月額 大学院:60,000円／月額	最短修業年限	○	○	○				30名程度	2～3名	院1名	院1名	院1名
3月	大学推薦	（公財）宮崎県奨学会 ＜宮崎県＞	貸与	25,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○ 1年生						5名程度	学内選考無	0名	0名	0名
4月	大学推薦	（一財）関育英奨学会	貸与	30,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限	○ 2～4年生						20名	1～2名	0名	0名	0名
4月	大学推薦	（公財）フジクラ育英会	貸与	学部:30,000円／月額（無利子） 院 :40,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限まで	○	○	○				記載無	1名	0名	0名	0名
4月	大学推薦	（公財）宮崎県奨学会	貸与	25,000円／月額（無利子）	正規の修学期間の範囲 内	○ 1年生+						5名 （うち返還免 除型奨学金は 2名）	学内選考無	0名	0名	0名
7月	大学推薦	（公財）松蔭奨学育成基金 ＜長崎県＞	貸与	42,000円／月額（無利子）	大学の所定修学期間、在 学生はその残存修学期 間。	○						記載無	記載無	0名	0名	0名
8月	大学推薦	（公財）帝人奨学会 帝人久村奨学生（博士課程）	貸与	100,000円／月額（無利子）	2022年4月から正規の博 士課程修了月まで			○				10名	2～3名	0名	0名	0名
9月	大学推薦	（公財）小堀雄久学生等支援 会 ＜後期募集＞	貸与	40,000円／月額（無利子）	令和4年10月～ 最短修業年限まで	○	○					記載無	4名	0名	0名	0名
1月	直接応募	（公財）佐々木泰樹育英会 ＜口語詩句奨学金＞	給付	年額500,000円（月割・給付型）	2022年4月～1年間	○	○	○				5名				
1月	直接応募	（公財）佐々木泰樹育英会 ＜建築奨学金（構造設計・設 備設計を含む）＞	給付	学部生 年額500,000円、大学院生 年額 1,000,000円（月割・給付型）	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間	○	○	○				若干名				
1月	直接応募	＜新規財団＞ （一財）大学生奨学財団	給付	100,000円／年額	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間	○ 2年生						10名				
1月	直接応募	（一財）TCS奨学会	給付	50,000円／月額	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間	○ 2～4年 生へ選 見込み	○ 1～2年 生へ選 見込み					30名程度				
2月	直接応募	（公財）キーエンス財団	給付	80,000円／月額	2022年4月～ 最短修業年限まで	○ 1年生						500名程度				2名
2月	直接応募	（公財）志・建設技術人材育成 財団＜兵庫県＞	給付	500,000円／年額	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間	○ 1年生						5名				
2月	直接応募	（公財）マブチ国際育英財団 【翌年度支給】	給付	100,000円／月額 入学一時金 300,000円（学部新1年生の み）	2022年4月から2023年3月 までの1年間 ※財団の条件を満たし、 認定されれば継続支給の 可能性あり	○ 1～2年 生						65名程度		（継続） 1名	（継続） 1名	（継続を含 め） 3名
2月	直接応募	＜新規財団＞ （公財）リソノ教育岩佐財団	給付	1,000,000円／年額	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間	○						20名				
3月	直接応募	公益信託池田育英会トラスト ＜愛媛県＞	給付	17,000円／月額 （7月・1月に102,000円を給付）	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間	○ 2年生 以上	○	○				5名（予定）				
3月	直接応募	＜新規財団＞ （一財）ASJ財団	給付	30,000円／月額	正規の修学期間まで	○ 2～4年 生	○	○				30名程度				1名
3月	直接応募	（一財）神山財団	給付	200,000円／年間（一括支給）	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間※	○ 1年生						20名程度				
3月	直接応募	（公財）キーエンス財団 （応援給付金）	給付	300,000円／1回	1回限り	○ 2～4年 生						1,000名程度				22名
3月	直接応募	（公財）本原財団	給付	480,000円／年額	2年間 （学部3・4年次）	○ 3年生						10名				0名
3月	直接応募	（公財）清国奨学会	給付	25,000円／月額	正規の最短修業期間	○ 1年生	○ 1年生					18名程度				0名
3月	直接応募	在日本朝鮮人教育会	給付	学部1年生 :160,000円／年額 学部2年生以上 :200,000円／年額	1年間 （毎年再審査あり）	○						記載無				
3月	直接応募	（公財）サカタ財団	給付	70,000円／月額	給付開始月から正規の学 士課程修了月まで	○ 2年生	○ 1年生					10名				
3月	直接応募	＜新規財団＞ （一財）神保教育文化財団	給付	480,000円／年額（一括給付）	2年間	○ 3年生						10名				
3月	直接応募	（公財）関通物流技術振興財 団	給付	480,000円／年額	2年間（学部3・4年次）	○ 3年生						10名				
3月	直接応募	（公財）ダイオーズ記念財団	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○ 2～4年 生	○	○				10名程度				
3月	直接応募	（公財）朝鮮奨学会	給付	学部:25,000円／月額 修士:40,000円／月額 博士:70,000円／月額	1年間	○	○	○				学部770名 院110名				
3月	直接応募	（公財）東電記念財団 【翌年度支給】	給付	50,000円／月額	最短修業年限まで （最長3年）		○ 1～2年 生（通 学予定 者含む）					5名程度				
3月	直接応募	（公財）戸部真紀財団	給付	50,000円／月額（年額600,000円） ※他の奨学金との併給（返済義務なし）の 場合は半額となる場合がある	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間※	○ 3～4年 生	○	○				40名程度				
3月	直接応募	中村育英奨学会	給付	480,000円／年額	2022年4月1日～2023年3 月31日の1年間	○ 3年生						10名				
3月	直接応募	（公財）日本通運育英会	給付	30,000円／月額	最短修業年限まで	○						20名				
3月	直接応募	（公財）野島財団	給付	50,000円／月額	正規の最短修業期間	○ 2～3年 生						10名程度				

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に本学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。募集条件等変更している可能性もありますので、詳細は必ず募集要項で確認してください。

※ 学生支援課ホームページでは、奨学財団から募集依頼がある度にお知らせしています。随時確認してください。

あった時期	申請方法	奨学金等名	給付／貸与	金額(円)	支給期間	出願資格等			学業優秀	経済困難	面接	全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数					
						学部	修士(前期)	博士(後期)													
3月	直接応募	(一財)山村章奨学財団	給付	480,000円/年額	2022年4月1日～2023年3月31日の1年間※	○ 3年生			25歳以下 (2022年4月1日現在)	工学系	併給可		○	・工学系学部(工学部及びこれらに類するもの)に在籍する学部3年生で日本国籍を有すること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること ・学業成績 GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項を参照			10名				
3月	直接応募	<新規財団> (一財)森山財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間	○ 3年生			25歳以下 (2022年5月31日現在)	経済系学部	併用可		○	・日本国籍 ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること(収入の目安は募集要項を確認) ・就学状況及び生活状況について適時報告できること			10名		1名		
4月	直接応募	エイブル文化振興財団	給付	100,000円/年額	2022年4月1日～2023年3月31日の1年間※	○					併用可		○	○	・学業優秀、品行方正であり、経済的な支援を必要とすること ・将来、グローバルに活躍する夢を持つ者 ・支給期間中、財団が定めるレポート等を期日までに提出し、財団の行事にも積極的に参加できる者			40名程度			
4月	直接応募	岡本育英奨学金	給付	480,000円/年額(一括給付)	2022年4月1日～2023年3月31日の1年間※	○ 3年生			25歳以下 (2022年4月1日現在)	経済学部、経営学部	併用可		○		・日本国籍を有し、経済系学部3年生であること ・募集年度4月1日時点で年齢25才以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難な者 ・就学状況及び生活状況について適時報告できること			10名		1名	
4月	直接応募	<新規財団> (一財)KAWAJIRI FOUNDATION	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間(学部3・4年次)	○ 3年生			25歳以下 (2022年6月30日現在)	経済系学部(経済学部、経営学部並びにこれらに類するもの)	併給可		○	○	・日本国籍を有すること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること ・書類選考により審査(学業成績GPA3.0以上が目安、家計状況の目安あり(詳細は募集要項を参照))			10名			
4月	直接応募	(公財)交通通児育英会	貸与・給付	学部4万・5万・6万円(うち2万円は給付)/月額 院 5万・8万・10万円(うち2万円は給付)/月額	正規の最長修業年限まで	○	○	○	25歳以下(申込時)		併用可		○		・保護者等が道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のため働けず、経済的に修学が困難な学生 ・学部生は家計基準あり			学部300人 院20人			
4月	直接応募	(公財)寿財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間	○ 3年生			25歳以下(令和4年4月1日現在)		併給可		○		以下のすべてに該当する者 ・学部3年生で日本国籍を有すること ・令和4年4月1日現在で25歳以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること			10名		0名	
4月	直接応募	<新規財団> (公財)杉山奨学財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間	○ 3年生			25歳以下 (令和4年5月31日現在)		併給可		○	○	以下のすべてに該当する者 ・日本国籍を有すること ・経済系学部(経済系学部)に在籍する学部3年生であること ・令和4年5月31日時点で25歳以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること ※その他学業成績、家計状況の目安は募集要項を確認すること			10名			
4月	直接応募	(公財)原・フルタイムシステム科学技術振興財団	給付	40,000円/月額	2年間	○ 3年生	○ 1年生		30歳以下 (2022年4月1日現在)	工学系	併給可		○	○	以下のすべてに該当する者 ・日本国籍を有すること ・工学系学部3年生または工学系研究科博士前期課程1年生であること ・令和4年4月1日時点で30歳以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること			10名程度		0名	
4月	直接応募	(一財)バロック村井博之財団	給付	30,000円/月額	1年間	○					他の給付奨学金との併用不可				・日本国内の大学に在学する学部生対象 ・ポードレス化が進捗する社会において、自らの手で新しい文化を創造し、積極的に世界へ飛躍することを志す人材を育成することを目的とする ・採用された場合、財団が企画する行事への参加に協力することができる者			30名程度			
4月	直接応募	(一財)ユニオン奨学財団	給付	30,000円/月額	入学時から正規の最長修業年限まで(最長6年間)	○ 1年生					併用可(ただし選考において考慮される場合がある)		○	○	・日本国籍を有する学部1年生対象(2022年4月現在) ・分野を問わず、社会に役立つ夢を持った学生であること ・学業優秀、品行方正であり、かつ経済的な支援を必要とすること ・支給期間中、当財団が定めるレポート等を期日までに提出できる者 ・支給期間中、当財団の行事に積極的に参加できる者			10名程度			
5月	直接応募	(一財)KIRII財団	給付	50,000円/月額	令和4年4月1日～令和5年3月31日までの2年間	○ 3年生	○ 1年生			建築学専攻	他の給付奨学金との併願、併給不可		○	○	・日本国籍を有するもの ・学業、人物ともに優秀であり、勉学に意欲がある者 ・奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 ・学業成績、所得の制限(目安)あり			5名			
5月	直接応募	(公財)富山文化財団	給付	300,000円/年額	1年間(2022年4月～2023年3月)	○	○	○			併用可		○	○	・「楽しく豊かな遊び文化」「子供の遊育と健やかな成長」「日本のものづくりのいずれかに関わる事柄について、目標をもって学業に取り組んでいること ・奨学金支給期間中の休学・留学・退学が決まっている者は対象外 ・奨学生としての義務(必要書類の提出、奨助等重要な事象が発生した際の報告、毎月レポートの提出、財団主催行事に出席し、奨学生間の意識高揚、親睦に努めること等)を履行できる者			34名程度			
5月	直接応募	(公財)似島国際奨学財団下期	給付	自宅生:50,000円/月額 ※優秀者には月額最大3万円の学習奨励金を追加支給	1年間 ※2022年10月から2023年9月	○	○ 1～2年生		2021年10月1日現在で学部生23歳以下、大学院生25歳以下		給付奨学金との併用不可(貸与奨学金との併用可)		○	○	・学部1～4年または修士(博士前期)課程1～2年に正規生として在籍予定で学力優秀・志操堅実の両方を兼ね備えながらも、経済的理由により就学が困難なもの ・日本国籍を有する者(永住権・定住権を有する者も可) ・財団主催の交流会(年2回予定)への出席、毎月の奨学生レポートの提出、アルバイトに従事している(月20時間以上)こと			最大100名 (上期、下期合わせて)			
5月	直接応募	<新規財団> NPO法人ふれあい自然塾	給付+貸与	30,000円/月額 (給付20,000円+貸与10,000円)	最短の就学期間の卒業年度まで継続する制度あり	○ 1～3年生			1年生(18歳以下) 2年生(19歳以下) 3年生(20歳以下) (2022年4月2日現在)		併用可(修学支援新制度(授業料減免+給付貸型奨学金)併用不可)		○		・修学を継続する意思がある者 ・修学のために経済的な支援が必要と認められる者			各学年10名程度			
7月	直接応募	(公財)遼美国際交流財団	給付	250,000円/月額	2023年4月からまたは2023年9月から1年間			○			併給不可 (常勤職不可)		○	○	・大学院博士課程に在籍し、2024年3月までに博士号を取得する見込みのある者(世紀に籍年限を超えたため、あるいは海外の大学院より博士号を取得するために研究員等として日本の大学院に在籍する者含む) ・在籍する大学院研究科と居住地の両方が関東地方にある者 ・日本語が堪能な者 ・国際理解と親善に関心をもち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある者 ・年数回の親睦会に参加でき、奨学生終了後は関コグローバル研究会に入会し、活動に協力できる者			16名			
7月	直接応募	菊地久治勉学奨励金 (社)佐倉市社会福祉協議会 【翌年度支給】	給付	入学科、授業料、施設費等学校納付金として年間1,500,000円を限度とする実費	正規の最長修業年限	○			満23歳未満		国の実施する給付型奨学金、貸与型の奨学金、遼美奨学金のみ併用可		○	○	○	・学部生で、下記のすべての要件を備えていること ・佐倉市在住であり、ひとり親世帯かつ低所得世帯に属していること ・健康であり、学業成績、人物ともに優秀であること(学業成績目安:大学等における総評定のうちA判定以上が1/3以上であること) ・学費の援助を必要とする家計状況であること ・満23歳未満であること ・国の実施する給付型奨学金を受給もしくは申請をしていること			若干名		
7月	直接応募	大学生等修学支援特別給付金 ≪相模原市≫	給付	50,000円/1回限り		○					併用可		○		次のいずれにも該当する者 (1)令和4年8月1日から給付金の支給決定日まで、引き続いて本市の住民基本台帳に登録されている人 ※ただし、DV被害など真にやむを得ない事情で本市に住民登録していない方は支給対象 (2)令和4年度に日本学生支援機構の給付奨学金を受給している人 ※所得の条件を住民税非課税世帯やそれに準ずる世帯とするなど、各種の条件が同等の給付奨学金を含む			10名			
7月	直接応募	(一財)高久国際奨学財団 【翌年度支給】	給付	70,000円/月額	1年間		○ 進学者含む				併用不可(貸与型は除く)		○		・令和4年4月時点で博士後期課程に在籍または令和3年4月以降の入学が許可されており、合格証明書、入学許可書等、入学の内定を証明できる書類のいずれかを提出できる日本国籍を有する者 ・国際理解と親善に関心をもち、貢献を意図する者 ・月例会(月)に1回、土曜日)、財団の定めた行事に必ず出席できる者 ・月末に400名のレポートを必ず提出できる者 ・奨学金支給終了後も当財団と通信等を継続する意思のある者			約3名			
8月	直接応募	アメリカ・アイハート奨学金 【翌年度支給】	給付	US\$10,000/1回	1回限り			○		航空宇宙科学関連又は航空宇宙工学関連	併用可		○		・航空宇宙科学関連または航空宇宙工学関連の分野の大学院博士課程に入学が決定しているか、在籍している成績優秀な女性の大学院生 ・博士課程を少なくとも1年間修了しているか申請時点で航空宇宙学分野で修士号を取得していること ・2023年4月以前に修了しないこと ・博士研究員の応募、前年のアメリカ・アイハート奨学生は1年延長不可			全世界から35名			
8月	直接応募	(公財)鹿児島県育英財団	給付	原則、大学(学部)在学中に借り受けた機構奨学金・育英財団奨学金の全額		○	○	○							・鹿児島県内の高等学校等卒業者、又は鹿児島県外の高等学校等卒業者(鹿児島県内に生活の本拠を有する者の子等で鹿児島県内の中学校を卒業した者に限る)のうち、次のいずれにも該当する者 ・大学・大学院を令和5年4月に入学予定の者 ・日本学生支援機構第一種奨学金又は鹿児島県育英財団大学等奨学金の貸与を受けている(いた)者 ・大学を卒業(修了)後、鹿児島県内企業等に就業する意思があり、かつ、県内居住を希望する者 ・鹿児島県等が実施する返還免除の制度が設けられている修学資金等(詳細は募集要項参照)を受給していない者			20名程度			
8月	直接応募	<新規財団> (一財)きのした未来財団	給付	480,000円/年額	2年間 (学部3年次・4年次)	○ 2年生			25歳以下 (令和4年9月30日現在)	経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの(政治経済学部経済学科、社会・国際学群社会科学類経済学主専攻等))	併用可			○	以下のすべてに該当する者 ・日本国籍を有すること ・経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの(政治経済学部経済学科、社会・国際学群社会科学類経済学主専攻等))に在籍する学部3年生であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること			10名			
8月	直接応募	(公財)本庄国際奨学財団 【翌年度支給】	給付	※学位取得までの最短期間にあたる期間で以下から選択 (1)月額20万円を1～2年間 (2)月額18万円を3年間 (3)月額15万円を3年1か月～5年間	学位取得までの最長修業年限まで		○ 進学者含む	○ 進学者含む	修士・入学時30歳以下 博士・入学時35歳以下		併用不可		○		・大学院修了後、母国に貢献する将来計画を持つ者 ・国際親善や交流に理解を持ち、財団で行う行事や同窓生ネットワークに積極的に参加または協力できる者 ・年4回の面談を受けられる者			若干名			
9月	直接応募 【翌年度支給】	(一財)荒井芳男記念財団	給付	100,000円/年額(一括支給)	2023年3月	○ 1年生	○ 進学者予定者		23歳以下 (2022年4月1日現在)	機械系、化学系、電気系	併給可。ただし過去に当財団の奨学金または研究助成金を受けていない者		○	○	以下のすべてに該当する者 ・最短就業年間で卒業の見込みがある者 ・当財団の奨学生ではない者 ・学業優秀、品行方正であり、経済的支援を必要とする者 ・財団が定める報告書を期日までに提出できる者			30名程度			
9月	直接応募	(一財)上修育英財団	給付	480,000円/年額	2年間 (学部3・4年次)	○ 3年生			25歳以下 (2022年11月30日現在)	経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの	併用可		○	○	以下のすべてに該当する者 ・日本国籍を有すること ・経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの(例:政治経済学部経済学科、社会・国際学群社会科学類経済学主専攻))に在籍する学部3年生であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ・就学状況及び生活状況について適時報告できること			10名			
9月	直接応募	コカ・コーラ教育・環境財団 【翌年度支給】	給付	40,000円/月額	正規の最長修業年限	○			26歳以下		併用可		○	○	・2023年3月に卒業見込みの学部生で2023年4月に修士(博士前期)課程へ進学する者 ・環境問題への取り組みとして、地球・環境資源に係る学問を学ぶ者(①飲料容器に使用される資源)②水③温室効果ガス④再生可能エネルギー ・給付期間中に退学または休学以外の理由(他の併用不可の奨学金を受けるためなど)で本奨学金を辞退する場合は、給付済みの奨学金を返還する場合がある			10名			
9月	直接応募	(社)さほうと21 坪井一郎・仁子 学生支援プログラム(健民等) 【翌年度支給】	給付	学部:400,000円～800,000円/年額 院:600,000円～1,000,000円/年額	1年間	○ 3,4年生	○ 進学者含む	○ 進学者含む					○	○	・2023年4月に大学3・4年生、大学院(修士・博士)在籍・進学見込みの者 ・インドネシア籍、東欧難民、第三国定住難民およびその子弟または中国帰国者三世、日系定住者(中南米など)二世(同等の事情があるとみなされる外国籍・元外国籍の学生も対象) ・専攻分野の指定はないが、主に理系優先、大学院在籍・進学予定者は修士課程を優先 ・財団主催行事に参加できる者			10名程度			
9月	直接応募	タクト奨学金	給付	200,000円/年額	1年間	○	○	○	25歳以下		併用可		○	○	・税理士資格または公認会計士資格の取得に専念し向学心がありながらも経済上の理由で資格取得の勉強継続が困難である者 ・25歳以下で学生又は就労していないこと ・世帯年収が給与所得者700万円以内(収入金額)、給与所得者以外350万円以内(所得金額)であること ・両親のいずれかが会社経営者の場合は対象外 ・税理士試験2科目以上合格しているまたは公認会計士試験を1回以上受験したことがあること ・継続を希望する者は成績を証明する資料に基づき支給継続の有無を判断する			10名程度			
9月	直接応募	(公財)似島国際奨学財団上期	給付	自宅生:50,000円/月額 ※優秀者には月額最大3万円の学習奨励金を追加支給	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間	○	○ 1～2年生		2023年4月1日現在で学部生23歳以下、大学院生25歳以下		給付奨学金との併用不可(貸与奨学金との併給可)		○	△	・学業、人物ともに優秀で健康であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者 ・日本国籍を有する者(永住権・定住権を有する者も可) ・財団主催の交流会への出席、毎月の奨学生レポートの提出が必要 ・休学、海外留学した場合は、奨学金が停止、もしくは打ち切りとなる ・昨年の世帯総収入(保護者)が1,000万円以下			最大100名 (上期、下期合わせて)			
10月	直接応募	<新規財団> (公財)阪部国際奨学財団	給付	100,000円/月額	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間	○	○	○	学部24歳未満 修士28歳未満 博士35歳未満		他の機関から合計10万円を超える奨学金を受けていない者		○	○	・大学・大学院に在籍する正規学生のうち学業優秀で、人格円満であり、心身ともに健康である者 ・本人の収入、資産または生計維持者からの支援では将来の目標を実現することが困難と認められる者 ・日本語能力試験2級以上の日本語能力を有すると認められる者			15名程度			

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和4年度に本学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。募集条件等変更している可能性もありますので、詳細は必ず募集要項で確認してください。

※ 学生支援課ホームページでは、奨学財団から募集依頼がある度にお知らせしています。随時確認してください。

案内の あった 時期	申請方法	奨 学 金 等 名	給付／ 貸与	金額（円）	支給期間	課程			年齢	専門分野	併用条件	学力 優秀	出 願 資 格 等		全体での 採用者数	大学 推薦枠	学内 申請者数	大学 推薦者数	大学 採用者数
						学部	修士 （前期）	博士 （後期）					経済 困難	面接					
10月	直接応募	（公財）ヨネックススポーツ振興財団 【翌年度支給】	給付	学部：50,000円以内／月額	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間	○	○	○	30歳未満（申請年度4月2日現在）	スポーツ学等						記載無			
11月	直接応募	<新編財団> （一財）生涯学習開発財団	給付	500,000円／1人	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間		○	○	50歳以上			○			・学部又は大学院に在学中、体育学等を専攻する学生、またはスポーツを積極的に行う学生で、スポーツを通じて明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与し、他の範となる者 ・以下のいずれかを満たしていること 1専攻するスポーツ種目において、自他共に認める力量を有していること 2青少年スポーツ振興のための指導者を目指していること ・採用された場合、活動報告書（年2回）の提出義務あり				
11月	直接応募	（一財）全国大学生協連奨学財団 （たすけあい奨学制度）	給付	100,000円（一括） ※卒業・修了まで5か月未満の場合、月2万円の割合で給付	2022年4月1日～2023年3月31日の1年間※	○	○	○			併給可		○		・学部・大学院に在籍する正規学生で、扶養者が死亡したため、学業継続が経済的に著しく困難であること ・扶養者が亡くなれてから原則として6か月以内の応募であること ・大学生協組合員でなくとも応募可	特になし			
12月	直接応募	（公財）東亜留学生育友会 【翌年度支給】	給付	30,000円／月額	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間			○						○	・大学院の正規課程に在籍している日本人学生 ・他の奨学金月額15万円以上を受給していないこと ・月例会（月1回、原則第2日曜日に開催、奨学金を手渡し）に毎月出席可能であること	若干名			
3月	直接応募	いわき市未来につなぐ人材応援奨学金返還支援事業	返還補助	在学中に貸与を受けた奨学金の2分の1の額 ※ただし、（84,000円×奨学金貸与月数）の2分の1の額又は1,536,000円のいずれか少ない額を上限とする	詳細は要項確認	○	○	○							・学部、大学院に在学中で令和2年度に修業年限以内で卒業（修了）予定の者（2021年3月に卒業予定の者） ・在学中に日本学生支援機構第一種奨学金・第二種奨学金、いわき市奨学金、福島県奨学金、いわきCO奨学金の貸与を受けている者 ・卒業（修了）した翌月1日から起算して6か月以内に市内事業所等（詳細は募集要項参照）に正規職員または所定労働時間が正規職員に準じる職員として就職することを予定している者 ・卒業（修了）後、いわき市内に定住することを予定している者	50名程度			
4月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度	返還補助	補助対象期間の月数÷72×奨学金の返還額※対象者に決定された年の4月から2年間に貸与を受けた金額に限る。有利子奨学金の場合、利息は補助対象外。補助金額は、日本学生支援機構の無利子奨学金の最高額が上限	詳細は要項確認		○	○	前期	工学、理学、農学、薬学	地方公共団体が行う奨学金の返還支援との併用不可				・奨学金の貸与（詳細は募集要項参照）を受けている者、または貸与の申請をしている者 ・大学院修士（博士前期期）1年生で、工学研究科、理学研究科、農学研究科、薬学研究科（これらに相当する研究科を含む）に在籍する者 ・修士（博士前期）課程を修了した年の翌年4月末までに、山口県内の製造業又は県内情報サービス業（詳細は募集要項参照）で就業することを希望する者 ・山口県製造業で6年間就業すれば対象となる奨学金の返還額を全て交付	25名程度（うち薬剤師枠5名程度）			
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業 ＜やまがた若者定着枠＞	返還補助	26,000円×令和3年4月以降に奨学金の貸与を受けた月数（上限額124万8千円）	詳細は要項確認	○	○								・山形県内に居住しながら県内の高等学校等を卒業し、学部、大学院（修士及び修士課程前期）に在学している者 ・卒業（修了）後13か月以内に山形県内に居住かつ就業し、5年間に上継続する見込みの者 ・県内企業等へ就業又は県内で創業を希望する者（対象外あり、詳細は募集案内参照） ・将来定住を希望する市町村が対象となる奨学金（日本学生支援機構第一種・二種奨学金、県内市町村の奨学金）の貸与を受けている者又は今年中に受ける予定の者 ※市町村によって対象の奨学金が異なります。各市町村の担当窓口または募集案内で確認すること	230名			
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業 ＜産業人材確保枠＞	返還補助	26,000円×令和3年4月以降の貸与月数 ※登録企業以外に就業した場合、支援額は1/2になります。女性の場合＋10万円	詳細は要項確認	○	○	○							・山形県内の高等学校等を卒業し、学部、大学院に在学している者 ・卒業（修了）後13か月以内に山形県内に居住、登録企業（詳細は募集案内参照）に就業し、5年間に上継続する見込みの者 ・日本学生支援機構第一種・第二種奨学金、県内市町村の奨学金、技能者育成資金の貸与を受けている者又は今年度中に受ける予定の者 ・日本学生支援機構第一種奨学金またはこれに準ずる奨学金を借入れ、返還予定であること。既卒者の場合は、返還中であること ・修業時・最終卒年またはその1年前の学年の在学生で、就業先が決まっていない者または大学卒業後3年以内でかつ就業先が決まっていない者（Uターンとなる県外居住者対象） ・指定地域枠は、指定地域（募集要項参照）への定住を希望し、かつ企業・団体に就業を希望する者、業種指定枠は、指定業種（募集要項参照）のうち県内に本社を有する企業・団体に就業を希望し、かつ県内への定住を希望する者 ・常勤雇用または個人事業主として就業を希望する者（公務員等を除く）	50名			
7月	直接応募	三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業 （指定地域枠）（業種指定枠）	返還補助	在学中に借受予定の奨学金総額の1/4、既卒者は認定時点の奨学金借受残額の1/4（いずれも上限100万円）	詳細は要項確認	○	○	○	35歳未満（令和5年3月31日現在）						・日本学生支援機構第一種奨学金又は有利子奨学金の貸与を受けている者又は受けていた者で、既卒者にあつては返還残額がある者 ※日本学生支援機構以外の奨学金については、貸与基準が日本学生支援機構奨学金に準じる要件のもの ・令和6年度卒業予定者及び令和7年度卒業予定者については大学等を卒業後、既卒者にあつては募集期間を経過した日以降に、県内事業所に正規職員として就業を希望する者（公務員を除く） ・県内に住所を有する予定で、かつ既卒者は県外から移住する年齢30歳未満（令和5年4月1日現在）の者 ・病気、けが等やむを得ない事情を除き、学部、大学院を修業年限以内で卒業した（する見込み）の者 ・奨学金返還を滞断していない者 ・一定の県内就業を返還免除要件とする公的給付制度を利用していない（しない）者 ・一定の県内就業を給付要件とする公的給付制度を利用していない（しない）者	40名 （指定地域枠15名、業種指定枠25名を予定）			
8月	直接応募	旭川市若者地元定着奨学金返済補助事業	返還補助	旭川市内に定着している期間のうち3年間を限度とし、奨学金の返還金として返済した金額の1/2を年度ごとに補助（1年度当たりの補助上限額あり）	詳細は要項確認	○	○	○							・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けている（いた）者 ・大学または大学院に在学中、令和元年度に卒業（修了）予定の者 ・旭川市外に住所を有する者で平成28年度以降に卒業した者 ・令和2年度に旭川市内に定着（市内居住および地元企業へ正規雇用により就業）し、その後3年以上継続する意思のある者	記載無			
8月	直接応募	徳島県奨学金返還支援制度 ＜とくま回帰枠＞	返還補助	（1）日本学生支援機構無利子奨学金等の借受総額の1/2と奨学金返還残額（R5.3.31時点）のいずれか少ない方の額（上限額100万円） （2）日本学生支援機構有利子奨学金等の借受総額の1/3と奨学金返還残額（R5.3.31時点）のいずれか少ない方の額（上限額70万円）	詳細は要項確認	○	○	○							次のいずれにも該当する学生 ・学部、大学院に在籍する令和4年度に卒業予定の者（3月に卒業する者）又は令和5年度に卒業予定の者（3月以外に卒業する者を含む） ・日本学生支援機構等の無利子奨学金又は有利子奨学金の貸与を受けている者又は受けていた者で、既卒者にあつては返還残額がある者 ※日本学生支援機構以外の奨学金については、貸与基準が日本学生支援機構奨学金に準じる要件のもの ・令和6年度卒業予定者及び令和7年度卒業予定者については大学等を卒業後、既卒者にあつては募集期間を経過した日以降に、県内事業所に正規職員として就業を希望する者（公務員を除く） ・県内に住所を有する予定で、かつ既卒者は県外から移住する年齢30歳未満（令和5年4月1日現在）の者 ・病気、けが等やむを得ない事情を除き、学部、大学院を修業年限以内で卒業した（する見込み）の者 ・奨学金返還を滞断していない者 ・一定の県内就業を返還免除要件とする公的給付制度を利用していない（しない）者 ・一定の県内就業を給付要件とする公的給付制度を利用していない（しない）者	150名程度			
9月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度	返還補助	・補助対象期間の月数÷72×奨学金の返還額 ※採用決定された年の4月から2年間に貸与を受けた金額に限る ・有利子奨学金の場合、利息は補助対象外。日本学生支援機構の無利子奨学金の最高額が上限	詳細は要項確認			○	1年生	工学研究科、理学研究科、農学研究科、薬学研究科これらに相当する研究科を含む）					・奨学金の貸与（詳細は募集要項参照）を受けている者、または貸与の申請をしている者 ・大学院修士（博士前期期）1年生で、工学研究科、理学研究科、農学研究科、薬学研究科（これらに相当する研究科を含む）に在籍する者 ・修士（博士前期）課程を修了した年の翌年4月末までに、山口県内の製造業又は県内情報サービス業（詳細は募集要項参照）で就業することを希望する者	25名程度（うち薬剤師枠5名程度）			
10月	直接応募	石川県ものづくり人材奨学金返還支援助成制度	返還補助	大学院在学中に貸与された奨学金のうち、対象企業に勤務して3年間経過した時点における奨学金貸与額の返還残額（上限100万円）	詳細は要項確認		○	○		理系					・理系大学院を修了し、大学院在学中に日本学生支援機構の奨学金を受け、返還を行っている者で以下のいずれかに該当する者 ・既卒者：平成30年3月以降に、理系大学院（修士・博士）を修了し、対象企業（案内参照）に正社員として就職した者 ・就職前：理系大学院（修士・博士）を修了した者で、石川県内に主たる事業所を有する企業を平成28年10月1日以降に就職し、対象企業（案内参照）に正社員として就職した者 ・通算して2年以上石川県内の就職した対象企業に就職し、専門知識を生かした業務に従事すること	記載無			
10月	直接応募	山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金	返還補助	卒業前2年間の貸与額（上限）	詳細は要項確認	○	○	○		理学部、工学部もしくはこれらに準ずる学部・研究科等					・申込日現在で、理工学部・工学部もしくはこれらに準ずる学部、研究科等に在学中、令和2年度（2021年3月）または令和3年度（2022年3月）卒業（修了）予定者 ・日本学生支援機構第一種奨学金、第二種奨学金の貸与を受けている者 ・令和2年度卒業予定者は令和3年9月末までに、令和3年度卒業予定者は令和4年9月末までに対象企業種企業（詳細は募集要項参照）における、企画・開発、製造部門への就職を予定している者 ・令和2年度卒業予定者は令和3年4月初日、令和3年度卒業予定者は令和4年4月初日を起算とした10年間のうち8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する意向があること	令和2年度卒業予定者21名 令和3年度卒業予定者35名			
11月	直接応募	秋田県奨学金返還助成制度	返還補助	一般分：年返還額の2/3（上限133,000円） 未就学生分：年返還額の10/10（上限200,000円）	詳細は要項確認	○									・日本学生支援機構第一種奨学金および第二種奨学金、秋田県育英会の大学月額奨学金等、その他の別に定める奨学金（募集要項参照）の貸与を受けている者 ・令和4年4月1日以降に秋田県内に定住の意思を持って居住していること ・既卒者も通算して1年以上に居住し、定住の意思をもって就労などの要件を満たせば応募可能 ※詳細は募集要項を確認すること				
2月	直接応募	（公財）芸術協会＜広島県＞	貸与	20,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○	○	○			併用可	○	○		・広島県内の高等学校もしくは中学校を卒業した学部生、大学院生で東京都内並びにその周辺の大学（大学院を含む）に在学者 ・学習状況が良好であり、経済的理由により修学が困難であること ・収入状況および学習状況は、日本学生支援機構の収入基準額および成績条件に準じる	記載無			
2月	直接応募	上越学生寮奨学生 ＜上越市、妙高市、糸魚川市＞	貸与	学部：70,000円／月額（無利子） 大学院：100,000円／月額（無利子）	貸付決定月から最短修業年限まで	○	○	○			併用可（ただし上越市奨学金との併給の場合は不可）		○		・上越市、妙高市、糸魚川市のいずれかに3年以上住所を有した者で、かつ、そこに所在する中学校または高等学校を卒業した人のうち、学業に優れた大学生、大学院生	学部6名 院1名 （前年度実績）			
2月	直接応募	（一財）トヨタ女性技術者育成基金	貸与	600,000円／年額（実質無利子）	在学期間中（留年は不可）	○	○	○	1年生	理工工学系	併用可	○			・応募する年の4月時点で、学部1年生または3年生、大学院修士（博士前期）課程1年生に在学する女子学生 ・学業成績優秀で、当基金の主旨に賛同し、将来製造業社でものづくりに関わる女性エンジニアとして活躍していく意欲、熱意のある者 ・当基金または基金支援企業が主催する育成プログラムに参加できる者 ・卒業後、基金支援企業に入社した場合は元金の全額、製造業者に入社した場合は元金の半額を免除する元金返済免除制度あり ・日本国籍を有し、日本に居住している者	50名			
3月	直接応募	（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団＜沖縄県＞	貸与	学部：45,000円／月額（無利子） 修士：70,000円／月額（無利子） 博士：80,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで（1年毎の継続審査あり）	○	○	○			貸与奨学金併用不可 給付型奨学併用可	○	○		・沖縄県内に住所を有する者の子弟（両親またはいずれかが沖縄県内に住民登録していること） ・成績が特に優秀な女子学部生1名は「ひめゆり闘争高学学生」として採用されることがある ・成績が特に優秀な大学院生は「琉球銀行または沖縄銀行委託給与奨学生」として採用されることがある	学部107名程度 院9名程度			
3月	直接応募	（公財）常盤奨学金 ＜いわき市、北茨城市およびその周辺地域＞	貸与	30,000円／月額（無利子） 理系：35,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○					併用可	○	○	○	・2022年4月1日現在在学中かつ2022年4月より入学見込みの者 ・福島県いわき市、茨城県北茨城市及びその周辺地域居住者の子弟 ・筆記試験・面接あり	5名程度			
4月	直接応募	（一財）あしなが育英会	貸与（+給付）※	一般70,000円／月額（うち貸与（無利子）40,000円、給付30,000円） 特別80,000円／月額（うち貸与（無利子）50,000円、給付30,000円）	2022年4月から最短修業年限まで	○			25歳以下		併用可		○		・保護者が病気や災害（道路上の交通事故を除く）もしくは自死などで死亡、または保護者が1級から5級の障害認定（詳細は募集のしおり参照）を受けていて、経済的な援助を必要としている者 ・育英会主催の行事への参加義務あり ※2023年度より制度が変わりました。詳細は財団ホームページで要確認	250名程度			
4月	直接応募	大田区奨学生＜大田区＞	貸与	35,000円以内／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						○	○		・貸付を開始する日の1年前から引き続き大田区内に居住している保護者等に扶養されていること ・世帯の所得制限あり（詳細は大田区ウェブサイト参照） ・学業成績が5段階評価で概ね平均3.0以上であること ・再入学者は対象外	60名程度			
4月	直接応募	岐阜県 清流の国推進部	貸与	30,000円／月額（無利子）	正規の最短修業年限を上乗	○					併給可		○	○	・岐阜県内の高等学校等を卒業した学部生、申請時に未成年の場合は、親権を行う者又は未成年後見人が岐阜県内に住所を有すること ・大学卒業後に岐阜県内に就業する意思があり、かつ学業成績が優秀であらうから、経済的理由により修学が困難であると認められる者 ・卒業した日の属する月の翌月から起算して6ヶ月以内に岐阜県内に居住かつ就業し、5年間継続することにより、返還が全額免除される制度あり	120名			
6月	直接応募	（公財）岡田甲子男記念奨学財団 ＜長崎県＞	貸与	50,000円／月額（無利子）	最短修業年限まで	○						○	○		・郷土の繁栄と発展に寄与するため、大学等卒業後2年以内に、県内に居住・就労し、3年（貸与期間が2年の場合は2年）経過後、その後においても引き続きその状態が見込まれる場合、返還未済額の全額免除あり（公務員採用者は除く）				
9月	直接応募	<新編財団> 松山市特例奨学生＜松山市＞	貸与	300,000円、500,000円、700,000円、900,000円、1,100,000円から選択（無利子） ※修学に必要な費用に応じ貸与	1回	○	○	○			併用可		○		・松山市出身（募集開始時現在、松山市内に1年以上に居住している者の子弟で松山市の中学校または高等学校を卒業した者）の学部または大学院生 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入や家庭からの援助（仕送り等）が半減し、経済的理由により修学し、卒業後継続することが困難な者 ・連帯保証人（独立生計の成年者で、住民税または固定資産税が賦課され、かつこれを滞納していない者）1名が必要	200名程度			